

令和3年度入学生対象

令和3年3月現在

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔 教育学部第二類（科学文化教育系）〕

プログラムの名称	(和文) 中等教育科学（社会・地理歴史・公民）副専攻プログラム
	(英文) Secondary Educational Sciences (Social Studies/Geography and History/Civics) Program

1. 概要

中等教育科学（社会・地理歴史・公民）副専攻プログラムは、中学校社会科教員、高等学校地理歴史科教員、公民科教員（これらを総称して、中等社会系教員と呼ぶ。）を養成する上で基礎となる授業科目により構成されたプログラムである。

この副専攻プログラムは、中学校、高等学校の社会系教育を実施するうえで必要な、地理学、歴史学、政治学、経済学、法学、哲学、倫理学などの人文・社会科学の各分野の基本的な知識・理解、能力、技能ならびに態度を修得し、社会系教育の基盤を形成することを目標にしている。

2. 到達目標

この副専攻プログラムは、専門職たる中等社会系教員の基礎として必要される知識、技能、態度を修得した人材を養成する。そのため本プログラムでは、とくに以下の知識・理解・能力を身につけることをめざす。

- ・社会系の教育内容に関連する基本的な認識枠組を修得し、研究できる知識・理解・能力。
- ・上を活用して、社会系教科教育を教育、実践できる能力。

3. 登録時期

開始時期は、2年次。

プログラムの登録は、原則として履修開始前（事前登録）とするが、特別な事情があれば、履修開始後（事後登録）であっても可能とする。

4. 登録要件

（1）プログラム選択のための既修得要件（履修科目名及び単位数等）

既修得条件は、とくに設定していない。

（2）履修上の注意点

この副専攻プログラムは、主に中学校社会科教員の免許状を取得するために必修となっている授業科目群を中心に構成されている。そのために本プログラムは、地理・歴史・公民の三分野をほぼ均等に、かつできるだけ幅広くカバーできること、また2・3年次の早い時期に基礎的な知識・理解・能力を修得できることを優先している。基礎的段階を超える内容を修得したい意欲的な受講生は、発展的に開講されている専門科目を履修することが望ましい。

5. 受入上限数

制限なし。

6. 授業科目

※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

7. 修了要件

11科目、22単位を修得したときに、修了とする

8. 責任体制

この副専攻プログラムは、主として教育学部の社会系コースを担当するスタッフにより遂行される。その遂行上の責任は、プログラム担当責任者（社会系コースを担当する教授）にある。プログラムの計画・実施・評価・改善は、副専攻プログラム担当教員会が組織的に行う。

9. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

認定単位数の上限は、11単位とする。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

認定単位数の上限は、22単位とする。

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

中等教育科学(社会・地理歴史・公民)副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	履修セメスター						要修得単位数	開設学部	備考
			3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ			
専門科目 専門基礎科目	社会科教育論	(2)	○						教育学部	主専攻プログラムでは2セメ開講 主専攻プログラムでは2セメ開講 法学部にて開講 主専攻プログラムでは1セメ開講	
	地理歴史科教育論	(2)		○							
	公民科教育論	(2)		○							
	地理学概説 I	(2)	○								
	地理学概説 II	(2)		○							
	日本史概説	(2)			○						
	世界史概説	(2)	○								
	倫理学概説	(2)		○							
	法律学概説	(2)		○							
	政治学原論	(2)		○							
	経済学概説	(2)	○								
合 計										22	

〈履修上の注意〉

1. 開設単位数欄の○に数字は必修を表す。
2. 履修セメスターの○印は標準履修セメスター